

平成26年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 行計対象

事務事業名 (中事業)	18499 民生・児童委員活動事業				
基本政策	01 とともに支え合い、笑顔輝くあたたかなまち				
政策	01 心かよい支えあう地域の福祉活動				
施策	02 地域の安心ネットワークの構築				
実施形態	補助・負担金				
事業期間	単年度	昭和30年度～			
要求区分	継続	予算区分	政策		
事業の実施を市に義務づける国の法令					
有 無	義務規定あり				
法令名 条 項	民生委員法				
予算科目	01-030101-100100				
部 名	03 福祉生活部	課 名	01 福祉事務所		
課長名	高田 洋明	T E L	0795-22-3111	内 線	258

2. 対象・目的・内容

事業概要	西脇市民生委員児童委員連合会が、地域福祉の増進のために行う活動に係る経費に対し補助金を交付する。
事業の対象 (誰・何を)	西脇市民生委員児童委員連合会（西脇・黒田庄民生児童委員協議会） 委員数は92名（内訳 民生委員児童委員数西脇70名、黒田庄17名、主任児童委員数西脇3名、黒田庄2名）
事業の目的 (どういう状態 にするために)	複雑・多様化する児童問題をはじめとする地域福祉の諸問題を解決するため、民生・児童委員活動費を助成することより、地域が主体となった相互の見守りが活発に行われる安心のネットワークを構築する。
事業の内容 (どういう内容 を行うのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員・児童委員の活動に要する経費 ・ 会議及び研修会等の開催に要する経費 ・ 調査研究の実施に要する経費 ・ その他地域福祉の増進のために行う活動に要する経費

3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費	財源						
		国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源
平成23年度決算額	6,443	0	5,533	0	0	0	0	910
平成24年度決算額	6,528	0	5,498	0	0	0	0	1,030
平成25年度決算額	6,470	0	5,520	0	0	0	0	950
平成26年度予算額	6,464	0	5,463	0	0	0	0	1,001

4. 総コストの概算

(単位：千円)

平成25年度のこの事業に 従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	平成25年度 決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.50	0.00	0.50	3,896	6,470	10,366
事業費の主な用途		補助金・委託料等			

平成26年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指 標 名	開催回数				単 位	回
	説 明 や 数 式	理事会・部会研修会等開催回数					
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目 標 値	33	33	33	33		
	実 績 値	35	36				
	経 費 (千 円)	3,746	3,726				
単 位 当 た り の コ ス ト	107.03	103.5					
活動 指標 ②	指 標 名					単 位	
	説 明 や 数 式						
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目 標 値	0	0				
	実 績 値						
	経 費 (千 円)						
単 位 当 た り の コ ス ト							
成 果 指 標 ①	指 標 名	延べ参加者数				単 位	人
	説 明 や 数 式	部会研修会等参加者数					
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目 標 値	550	550	550	550		
	実 績 値	572	584				
	経 費 (千 円)	3,746	3,726				
単 位 当 た り の コ ス ト	6.55	6.38					
成 果 指 標 ②	指 標 名	延べ活動回数				単 位	回
	説 明 や 数 式	相談を受けた回数					
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目 標 値	3,000	3,000	3,000	3,000		
	実 績 値	3,042	3,624				
	経 費 (千 円)	6,678	6,640				
単 位 当 た り の コ ス ト	2.2	1.83					
実 績 ・ 成 果 等 の 説 明	各部会での研修会の他、民生児童協力委員も含めた全体の研修会や、地域の小中学校との連携を強化するための意見交換会なども実施している。 委員は積極的にこれらの研修会に参加しており、地域福祉の増進に一定の効果を上げていると考える。						

6. 評価

1 次 評 価	評 価 ポ イ ン ト	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	4	実施主体の妥当性	5
	事 業 の 総 合 評 価	直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	3
	説 明	継続実施					
2 次 評 価	評 価 ポ イ ン ト	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	4	実施主体の妥当性	4
	事 業 の 総 合 評 価	直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	3
	説 明	民生・児童委員の活動は、地域福祉の増進に欠かせないものであり、今後その役割は、ますます大きくなるものと考えられる。そのため、事業としては継続実施すべきであるとする。しかしながら、民生・児童委員への負担感の増大や人材の不足等により、将来の成り手が不足するとの懸念があるため、組織、定員、役割等について研究を進められたい。					